

聖書日課 『からし種』 2023.1.22-1.29

<p>1月22日 (日) 申命記 29章</p>	<p>「この契約の言葉を忠実に守りなさい。そうすれば、あなたたちのすることはすべて成功する」(8節)。これはモアブで結ばれた契約。もし、偶像に仕えるようなことがあれば、恐ろしい呪いの誓いも交わされている。実際にそうなるのであるが、私たちの救いのために主の十字架という最高の犠牲が払われた事を覚えて。</p>
<p>23日 (月) 申命記 30章</p>	<p>「御言葉はあなたのご近くにあり、あなたの口と心にあるのだから、それを行うことができる」(14節)。この御言葉に聞き従うならば、あなたの主なる神は、あなたの運命を回復し、あなたを憐れみ、あなたの神、主が追い散らされたすべての民の中から再び集めてくださる(3節)。わたしたちも主に立ち返り、御言葉に聞き従う日々を歩みたい。</p>
<p>24日 (火) 申命記 31章</p>	<p>「主はモーセに言われた。『あなたは間もなく先祖と共に眠る。するとこの民は直ちに、入っていく土地で、その中の外国の神々を求めて姦淫を行い、わたしを捨てて、わたしが民と結んだ契約を破るであろう』」(16節)。そんな墮落した民に神の災いが降りかかる中、後継者ヨシュアはきついでであろう。しかし、主が共にいてくださると約束された。</p>
<p>25日 (水) 申命記 32章</p>	<p>「あなたたちは、今日わたしがあなたたちに対して証言するすべての言葉を心に留め、子供たちに命じて、この律法の言葉をすべて忠実に守らせなさい。それは、あなたたちにとって決してむなしい言葉ではなく、あなたたちの命である」(46~47節)。全イスラエルに対するモーセの遺訓かも。主の言葉に聞き従うことこそ、私たちの命であるのだろう。</p>

聖書日課 『からし種』 2023.1.22-1.29

<p>26日 (木) 申命記 33章</p>	<p>「イスラエルよ、あなたはいかに幸いなことか。あなたのように主に救われた民があらうか。主はあなたを助ける盾／剣が襲うときのあなたの力。敵はあなたに屈し／あなたは彼らの背を踏みつける」(29節)。これはモーセが生涯を終えるにあたり、イスラエルの人々に与えた祝福の言葉。主に従う私たちも神から祝福されていることを覚えたい。</p>
<p>27日 (金) 申命記 34章</p>	<p>「主はモーセに、すべての土地が見渡せるようにされた」(1節)。主はモーセに誓われた土地をすべて見せられたが、彼はそこには渡っていけない。モアブの地にある谷に主が葬られた。今日に至るまで、だれもその場所を知らない。主は顔と顔を合わせてモーセを選び出され、大切な使命を与え、いつも彼と共におられた。主の限りない愛が注がれていた。</p>
<p>28日 (土) ヨシュア 1章</p>	<p>「この律法の書をあなたの口から離すことなく、昼も夜も口ずさみ、そこに書かれていることをすべて忠実に守りなさい。そうすれば、あなたは、その行く先々で栄え、成功する」(8節)。主はヨシュアを祝福された。そして彼に求められたことは、律法の書をいつも口ずさみ、守ることであった。私たちもいつも御言葉を口ずさむものになりたい。</p>
<p>29日 (日) ヨシュア 2章</p>	<p>「あなたたちの神、主こそ、上は天、下は地に至るまで神であられるからです」(11節)。カナン人ラハブの信仰告白。ラハブはエリコ王の命令に背いて、イスラエルの主なる神を信じて斥候を助けた。何という大胆な決断だろうか。剣を手にした王よりも、まだ見たことのない神を信じる。その信仰のゆえに、ラハブがキリストの系図に連なる者とされたことを覚えたい。</p>